令和元年度事業報告

伊賀市シルバー人材センターは、健康で就労意欲のある高齢者に、長年培った技術や経験を活かした就労の場を提供することにより、高齢者の生活水準の維持や生きがいの充実を図っています。また、就労やボランティア活動などの社会参加により、地域づくりにも寄与し地域から信頼される魅力あるシルバー人材センターをめざし、事業を推進してきました。

しかし、センター運営の根拠となる会員数は、「第２次会員 100 万人達成計画」を推進の中にもかかわらず減少が止まらず、前年同期に比べ 19 名の減少となっています。人口減少・少子高齢化が進む中、企業等の雇用延長制度や再雇用制度の延長等による入会する会員の減少と会員の平均年齢が 74 歳を超え、加齢、病気、家族の介護による退会が退会者総数の半数を超えていることなどが要因と考えます。

会員拡大の取組みとしては、「女性の会」が誕生し、会員外の方が参加出来る寄せ植え教室を２回実施、毎月のハローワークの相談コーナーの充実、地域ブロックの充実、未就業者等の相談日を設置、一人一会員入会促進キャンペーンを実施、三シ連による新聞折り込み広告 26,650 部配布等を新たな事業として取組みました。大きな成果に繋がってはいませんが、前年より入会者が 4 名増え、退会者が 25 名減っています。

安全・適正就業では、「安全は　あなたが生むもの　守るもの」の令和元年度の安全標語の基、事故防止に努めているところですが、事故発生件数が 20 件で前年より 2 件の増加となりました。事故発生件数は、平成 28 年に 16 件まで減少したものの 3 年連続で増加しました。

シルバー人材センターは、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、会員、役員、職員が、一丸となって事業推進に取り組み、より堅実な事業基盤の確立とともに、令和元年度の事業に取り組んできました。

事業実績については、受託事業で、377,773 千円の契約額となり対前年度比 100.1%、派遣事業では契約額が 99,927 千円で対前年度比 92.9%となり、総契約額は 477,700 千円、対前年度比 98.5%となりました。本年度は、派遣事業が減少しましたが、特に 3 月は、新型コロナウイルス感染症の影響がリゾート施設における就業にでています。

なお、高齢化社会にあって今日までの実績は、会員及び関係機関並びに各事業所をはじめ、地域の方々の深いご理解・ご支援によるものであります。

以下、本年度事業として推進しました主要事項について報告いたします。

◎基本方針

① 組織運営体制の充実と会員連携の強化
② 会員の加入促進と普及啓発活動
③ 安全・適正就業の推進
④ 就業機会の開拓推進
⑤ 技能支援と各種講習の推進
⑥ 福祉家事援助サービス事業の推進
⑦ 地域高齢者サポート事業の推進
⑧ 奉仕活動（ボランティア）の推進

⑨　健康福祉活動の推進
⑩　独自事業の推進
⑪　特定公益増進法人制度の推進

１．組織運営体制の充実と会員連携の強化

会員自らが主体となり各地区、各事業面での積極的な就業開拓が図られるようリーダー養成と会員連携の推進に努める。

①　専門部会の充実と各委員会活動の強化

・総務組織部会（７回）表彰審査会（２回）開催

5/10・・・定時総会（案)、表彰審査

6/14・・・部会長の選任、事業計画所掌事項、人権研修、市長・議長要望、安全衛生管理規程等

8/16・・・役職員人権研修会、地域ブロック会議、入会説明会の充実、衛生委員会規程（案)、安全基準一部改正（案）等

9/11・・・事業所班の従事会員の就業要領（案）

10/16・・・役職員人権研修会、役職員先進地視察研修等

11/28・・・上半期監査結果、役職員の人権研修、地域ブロック会議、役職員の視察研修等

1/31・・・設立１５周年記念事業での表彰審査会

2/18・・・役職員の視察研修、令和元年度事業報告、令和２年度事業計画等

・安全適正就業推進部会（５回)、就業適正化委員会(５回)、安全委員会（２回）開催

6/18・・・ 部会長の選任、令和元年度部会事業計画（安全就業・適正業）安全就業の取組み（安全・適正就業強化月間の取組み、安全就業パトロールと事故防止対策、安全標語の募集、安全就業推進大会)、適正就業の取組等

8/20・・・安全講習会、衛生委員会規程（案)、安全基準の一部改正（案）

10/10・・・安全講習会、安全標語の選定等

11/28・・・安全講習会等

2/18・・・令和元年度事業報告、令和２年度事業計画等

・福祉家事援助サービス部会（５回)、福祉・家事援助推進委員会（３回）開催

6/24・・・部会長の選任、事業計画所掌事項、市民夏のにぎわいフェスタ 2019 出店、三シ連主催シルバーいきいきフェスタ 2019、福祉家事援助サービス月間等

8/22・・・三シ連主催シルバーいきいきフェスタ 2019、けんずいまつり 2019、福祉家事援助サービス月間等

10/16・・・三シ連シルバーいきいきフェスタ 2019、けんずいまつり 2019、福祉・家事援助サービス月間等

11/28・・・福祉・家事援助サービス月間、三児童クラブ合同イベント、鈴鹿市ＳＣ視察研修等

2/25・・・令和元年度事業報告、令和２年度業計画等

・事業普及部会（５回)、憩のやかた運営委員会（２回）開催

6/18・・・部会長選任、事業計画所掌事項、R1 事業計画,憩のやかた運営委員会等

7/ 3・・・憩のやかた運営委員会、委員長・副委員長の選任、R1 事業計画、市民夏のにぎわいフェスタ 2019、三シ連シルバーいきいきフェスタ 2019、憩のやかた実績等

10/15・・・三重県シルバーの日、就業開拓、剪定講習会等

11/27・・・剪定講習会、就業開拓等

2/17・・・剪定講習会、令和元年度事業報告、令和２年度事業計画等

3/ 9・・・憩のやかた運営委員会

② 班組織（地域班、職群班）の充実と班機能の確立

・地域班長会議５９班（8/30,1/30）

・職群班長会議

7/ 9. 8/20. 10/15 草刈班長会議（３回）開催

公共・民間受注の進捗状況、事故概要等

4/12. 8/30. 2/18 剪定班長会議（３回）開催

各班の調整、就業の進捗状況、安全基準の作業別ポイント等

4/12、8/28 上野公園駐車場管理班全体会議（２回）開催

駐車場管理の就業内容

③ 地域ブロック会議の充実（地域就業活動の促進と会員間の連携強化）

9/18・・・地域ブロック長会議

各地域ブロック会議の開催・・・7 ブロック開催

④ 設立 15 周年記念事業企画委員会２回開催

第 5 回　5/28　　第 6 回　2/5

⑤ 各種規程、要綱等の整備改正

随時・・・理事会、総務・組織部会、事務局

⑥ 他シルバー視察研修来所

12/17・・・鈴鹿市シルバー人材センター（１０名）

1/29・・・松阪市シルバー人材センター（１１名）

２．会員の加入促進と普及啓発活動

センター事業の進展のため、入会促進と普及啓発活動を実施。

① 入会への定期説明会開催及び桐ヶ丘団地での入会説明会の実施

・年間 25 回開催し、135 名参加（昨年より 29 名増）

3 月末・・・会員数 794 名（昨年より 19 名減）

入会者計　86 名（昨年より 4 名増）

退会者計 105 名（昨年より 25 名減）

・入会者のうち会員の紹介による入会 4 名

・会員の推移

平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
969 名	955 名	914 名	861 名	813 名	794 名

② 会報「シルバー伊賀」年２回発行（8 月、１月）
・広報編集委員会・・・６回開催（7/22.8/ 9.8/21.11/26.12/25.1/15）
③ 伊賀市長・市議会議長要望
（8/9 市長及び市議会議長）
④ 市広報による入会説明会及び高齢者職業相談会の開催日周知
⑤ 会員による普及啓発パンフの配布
⑥ 全シ協、三シ連との連携協調による広報パンフ、リーフレットの配布
⑦ 地域での普及啓発活動
・各種イベント参加：青山夏まつり(7/14)、市民夏のにぎわいフェスタ 2019(8/18)、けんずいまつり２０１９(11/3)
⑧ 入会説明会に合わせてポスティングを実施
⑨ ポスティングチラシの刷新
⑩ 会員拡大プロジェクト会議７回開催
第6回 4/26、第7回 5/28、第8回 6/28、第9回 7/29、第10回 9/11、第１１回 10/28、第１２回 12/16
⑪ 女性の会 4 回開催
第 1 回 6/ 6，第 2 回 7/19、第 3 回 8/23、第 4 回 9/11
⑫ 女性の会寄せ植え教室２回開催
9/25 「秋の花を楽しもう」22 名参加（会員外 3 名）
12/11 「お正月用寄せ植え教室」47 名参加（会員外 20 名）
⑬ シルバーいきいきフェスタ 2019 にて経験発表「伊賀流★空き家バンク」と忍にん体操で普及啓発活動 10/30 31 名参加
⑭ 会員紹介促進キャンペーンのチラシを全会員に配布
⑮ 三シ連が新聞折り込みチラシを作成配布。 2/17 市内 26,650 部配布（朝日、毎日、中日、読売）
⑯ 未就業者及び就業者の就業相談日を開催
⑰ 憩のやかたＨＰの開設

３．安全・適正就業の推進

シルバー事業で何よりも優先する安全対策に向けた取り組みを進めるとともに、受託と派遣の事業点検を行い適正就業に取り組みました。

① 安全就業現場パトロール実施（8 回）草刈・草引き・剪定等
7/16. 7/24. 7/30. 8/6. 8/21. 8/27. 9/10. 9/17
② 事故発生件数 20 件（物損事故 10 件・傷害事故 10 件）

平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年
22 件	24 件	16 件	17 件	18 件	20 件

③ 安全標語の募集（34 点応募）

・最優秀作品「安全は　あなたが生むもの　守るもの」

④ 安全講習会（12/7　どんぐりホール）・・・参加者 87 名

・安全標語入選者の表彰・・・表彰者 5 名

・講演：「高齢者の事故防止について」

上野自動車学校　教習指導員　川合教永　様

・パネルディスカッション・・・パネラー5 名

⑤　熱中症予防パンフレットの配布

⑥　適正就業関係

・ 7/11 安全就業推進大会（三シ連）・津市

・ 8/16 業務担当創出員研修会（三シ連）・津市

・ 9/17 安全・適正就業パトロール（三シ連）・鈴鹿市

４．就業機会の開拓推進

会員に適した就業の場を提供するため、会員のご協力を得ながら就業機会の確保及び新規開拓に努めました。

① 就業実績

・総受託件数・・・5,537 件

［公共 1,086、民間 2,024、一般・家庭 2,427 件］

対前年度・・・・215 件減

［公共 42 増、民間 144 減、一般・家庭 113 減］

総契約額・・・・377,773 千円（対前年度比 100.1%）

総就業延日人員 74,081 人(対前年度 1,716 名減)

実就労人員 662 名（対前年度 14 名減）

就業率＝就業人員 662／会員数 794・・・83.4%（対前年度比 0.2%減）

・派遣　伊賀市事務所派遣事業所数・・・29 事業所（増減なし）

登録会員数・・・136 名（16 名増）

就業延日人員・・・14,581 名（966 名減）

伊賀市事務所派遣事業総収入・・・・99,928 千円(対前年度比 92.9%)

総事業費（派遣事業含む）・・・477,700 千円（前年度 485,198 千円）

対前年度比 98.5%

② 事業所訪問

③ 会員による普及啓発パンフの配布

④ 住民自治協議会との連携による地域密着型就業の活動

５．技能支援と各種講習の推進

高齢者の就業に必要な知識や技能習得のための事業としての技能講習会を開催する。

① パッカー車運転技能講習（4/ 1、4/ 2、4/ 3）　21 名参加

② 清掃作業者スキルアップ講習（7/12、7/23）　25 名参加

③ 高齢者活躍人材確保育成事業育児サポート就業体験（10/1）　7名参加
④ 役職員の人権研修（12/10）　28名参加
講演「福祉という言葉を　暮しという言葉に置き換えて」
社会福祉法人　維雅幸育会　統括管理者　奥西利江　様

６．福祉家事援助サービス事業の推進

高齢化社会の進展で高齢者世帯が増加の中、福祉家事援助等の生活支援や社会参加型活動を行いました。

① いきいきシルバーサロン（池町）9回開催・・・延べ35名
利用者数　延べ59名
② 地域イベントへの参加
7/14 青山夏祭り・・・11名
8/18 市民夏のにぎわいフェスタ2019・・・19名
11/ 3 けんずいまつり2019・・・13名
③ 三児童クラブ合同イベント　12/26 ・・・5名

７．地域高齢者サポート事業の推進

それぞれの地域の高齢者が日常生活で困っておられる短時間でできる簡易なことをその地域の元気なシルバー会員が安価で支援（受注）する地域高齢者サポート事業（生活支援）について、進めました。

地域高齢者サポート事業（生活支援）
西高倉きずな会（75件）・阿山サポート会（3件）・小田サポート会（1件）

８．奉仕活動（ボランティア）の推進

会員間の連携を深め、シルバー事業のモットーである「すすめよう」「さしのべよう」「まもろう」「つたえよう」を就業だけでなく、地域での奉仕活動においても実施いたしました。

いがスマイル彩ボランティア活動・・・9件、延べ70名
・川西青葉台ついたちカフェ８名　・いきいきサロン紺屋町７名
・いきいきサロン紅つつじ８名　・岩倉いきいきサロンくれは７名
・ゆめが丘シニアサークルスマイル８名
・介護老人保健施設第２おかなみ７名
・デーサービスセンターみんなの家８名　・いきいきサロン楯岡８名
・佐那具老人クラブ松寿会サロン９名
4/27～5/ 5　伊賀上野ＮＩＮＪＡフェスタ2019ボランティア５名
6/22　ぬくもり園草刈、草引き６名
8/19　にぎわいフェスタ翌日清掃８名
10/27　梨ノ木園窓拭き５名
11/17　ぬくもり園窓拭き７名
11/17　近鉄青山町駅前剪定、除草、清掃ボランティア９名
12/12　彩四季窓拭き６名

９．健康福祉活動の推進

熱中症予防等パンフの配布、会報２９号健康診断受診推進を掲載等、会員が健康管理に留意いただくため、周知しました。

１０．独自事業の推進

高齢化社会が一層進展する中、シルバー会員が受託事業だけでなく自らの事業化に向けた体制整備に努めた。

① 憩のやかた事業の推進

・店舗の内容充実に努め、来店客の増加を図った。

・「ぷち忍者変身処」を通年開設

・新型コロナウイルス感染症感染防止のため「すみれ会」がマスクの製作、憩のやかたで販売

② いきいきシルバーサロン「池いけやかた」事業の推進

・年９回開催　利用者　延べ59名　担当会員　延べ35名

・利用者が減少してきた。

・地域の方の利用者が減少してきた。

１１．特定公益増進法人制度の推進

各事業所等にシルバー人材センター事業や特定公益増進法人制度の理解を深めるとともに、寄付行為についても周知を図り、13事業所から130,000円の協力を得て当センター業務の充実に努めました。

１２．理事会の開催

主要協議案件、その他事項について、8回の理事会と臨時理事会を開催し、所掌事項等下記の取組み事項と諸事業の推進

5/13・・・活動状況、新入会員、事業実績、各専門部会、会員拡大プロジェクト
（第１回）会議報告、見積配分金単価見直し等
総会提案事項・・事業報告、収支決算、監査報告、役員の選任、表彰等

5/30・・・新役員紹介、理事長・副理事長・常務理事・顧問の選任
（第２回）

6/26・・・役員紹介、活動状況、全国シルバー・東海シルバー及び三重県シルバ
（第３回）ー総会、新入会員、事業実績報告、各専門部会、等
R1年度事業計画、所掌事務、市長・議長要望、安全標語、安全・適正就業パトロール、シルバーいきいきフェスタ、市民夏のにぎわいフェスタ、三重県シルバーの日等
役員賠償保険、熱中症見舞金制度、発注者の振込

8/26・・・活動状況、理事長・副理事長の活動状況、事業取組み状況及び新入会
（第４回）員等の報告、各部会取組状況の報告
会員拡大プロジェクトチーム、設立15周年記念事業企画委員会、理事・

監事選考委員会委員の承認、安全基準
市長議長要望、三重県シルバーの日、人権研修報告
10/21・・・活動状況、新入会員、事業実績、各部会取組状況の報告
（第５回）会員拡大プロジェクト会議の報告、安全講習会、安全標語の決定。シルバーいきいきフェスタ 2019、けんずいまつり 2019 等
12/10・・・活動状況、新入会員、事業実績、上半期業務及び会計執行状況監査結
（第６回）果、安全講習会の結果、各部会取組状況、会員拡大プロジェクト会議の報告、役職員視察研修、剪定講習会等
1/14・・・臨時理事会の開催
（臨　時）公共草刈の配分金の差異について
2/27・・・活動状況、新入会員、事業実績、各部会取組状況の報告
（第７回）
3/23・・・活動状況、理事長・副理事長活動状況の報告。令和元年度収支補正
（第８回）　予算、令和２年度事業計画、令和２年度収支予算を定款３９条に基づく「決議の省略」で書面決議とした。

１３．役職員調査研修報告

目　的

公益社団法人伊賀市シルバー人材センターは、６５歳定年の定着化により会員の増強が進まない状況が続いています。

このような中､会員拡大プロジェクトチームをつくり､月１回の会議を開催、検討し、実行に移せるものから取り組んでいるところですが、会員の増加が見込めない状況です。

こうした情勢を踏まえて会員の確保と就業機会確保し、魅力あるシルバーとするため、粗入会率の高い、西脇・多可シルバー人材センター様にご教示いただき、より地域社会に根ざした活動の推進と魅力あるシルバー人材センターとなるよう一層の研鑽を積むため、県外の先進地視察研修を実施いたしました。

期　間　・・・・令和２年　２月１９日（水）
視察研修箇所・公益社団法人 西脇・多可シルバー人材センター（兵庫県）
参加者　・・・公益社団法人伊賀市シルバー人材センター役員・職員１２名

研修課題

１）シルバー人材センターの現況と組織構成等について
①会員数と粗入会率（租入会率が高い。若い会員が多い（平均年齢が若い））
②会員確保の取組み状況
③材料費、事務費の率（材料費が低い）
２）就業機会の確保及び会員獲得について
①就業機会の確保と会員獲得するための手法

３）安全就業について
①事故防止対策の取組み状況
４）適正就業について
①適正就業ガイドラインの周知と適正就業の現状について
②派遣就業と特例による週４０時間の現状について
５）シルバー派遣事業の事務分担及び集中化の状況について
①現在拠点主体で行われていますが、将来的な検討は、連合で行われていますか。

研修概要
【西脇・多可シルバー人材センター】
・会員・・・・８６０人
・母体人口・・６１，４５６人
・受託実績・・６１８，５９５，０００円（公共 22.4%　民間 77.6%）
・派遣実績・・４３人
・就業率・・・請負、委任　８８．７％
派遣　　１００％
・研修内容・・・伊賀市と同様、会員の減少、請負契約の内容に基づき、派遣契約への切り替え（適正就業）等で苦労されている。事務局だよりは、毎月発行。経理処理は、連合で行っている。職員体制は１３名。担当職員が「会員の事情、特性等を完全に掌握」している。

母体人口が３万人も少ないのに粗入会率が高い。６５歳から７０歳代はハローワークで決まってしまうので、７０歳以上の入会率が高い。

日曜日に入会説明会を実施していたが、ゼロの月があり、いずれも苦戦している。入会金は仕事についてから徴収しており、一年のうち６カ月過ぎれば月割り入会金制をとっている。年３回新聞広告チラシを入れている。入会説明会の来店者のうち８割が新聞広告を見て来ている。シルバーに入る人が高齢化しているので、仕事のできる職種が少なくなっている。

安全就業では、死亡事故（高所作業は、しない約束であったのに、ヘルメットも安全ベルトもつけていなかった）もあり、いろいろな機会を捉えて活動している。安全就業、適正就業については、「シルバー事務局便り（事故の現況、ヒヤリ、ハットの体験事例等）」を発行している。

草刈作業は、７月、８月に熱中症対策で毎水曜日が原則休業日としている。

会員の減少に伴う対策として「入会説明会の開催回数を増やす」「パンフレットなどの発行による啓発」「会員への紹介促進活動（紹介者に 2,000 円の商品券、５名以上の場合：黒田和牛）」「女性会員の拡大（介護、福祉関係の就業の拡大のため）」を行っている。女性会員と一般の

女性との交流会を実施している。会員の口コミが最も効果があった。入会説明会には、６０才代の参加がない。

　就業開拓に行っても、作業のできる人が高齢で、作業のできる人員がいないので迷惑をかけている。該当会員不足で新しい仕事を断っていることが多い。派遣業種別指定を受けたが、食糧品製造業、繊維工業、飲食料品で手数料が２０％と言ったら無理だったので請負の範囲で仕事をしている。育児支援業務は、市の事業で家庭にお邪魔したり、送迎などもしている。